



元気モリモリ!!!通信

2021年 秋号



森山浩行

大阪府第16区総支部長 (堺市堺区・北区・東区)
衆議院議員

プロフィール

- ◆ 昭和46年(1971)4月8日 金岡病院(北区)生
- ◆ 櫻校区に妻子とともに在住
- ◆ 堺市立新金岡小学校(北区)入学 錦西小学校(堺区)卒
- ◆ 堺市立月州中学校(堺区)卒<水泳部>
- ◆ 大阪府立三国丘高校卒<柔道部・生徒会>
- ◆ 明治大学法学部卒<雄弁部>
- ◆ 関西テレビ放送 報道記者
- ◆ 堺市議会議員(1999~2003)
- ◆ 大阪府議会議員(2003~2005)
- ◆ 羽衣国際大学 元 客員助教授
- ◆ 芦屋大学 元 客員教授
- ◆ 堺高石青年会議所シニアクラブ 会員
- ◆ 堺おおいずみロータリークラブ 会員
- ◆ 堺市倫理法人会 顧問
- ◆ 日創研 南大阪経営研究会 会員

現在の役職

- ◆ **党役員室次長**
→ 枝野幸男代表をサポート。
- ◆ **党企業団体交流委員会副委員長**
→ 諸団体とのパイプ役。特に宗教団体担当。
- ◆ **党災害・緊急事態局長代行 (兼コロナ対策事務局)**
→ 災害発生時の初期対応から復興まで(西日本担当)。コロナ事務局兼務。
- ◆ **党大阪府連幹事長**
→ 大阪府連の実務責任者。
- ◆ **衆議院倫理選挙特別委員会理事**
→ 今期一貫して所属。公職選挙法・政治資金規正法などを担当。
- ◆ **衆議院予算委員、内閣委員**
→ 国政の根本である予算と内閣府・内閣官房を担当。

衆議院議員 森山浩行事務所

[堺事務所] 〒590-0078
大阪府堺市堺区南瓦町1-21 宏昌センタービル2F
TEL.072-233-8188 FAX.072-233-8185

[国会事務所] 〒100-8982
東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館613号
TEL.03-3508-7426 FAX.03-3508-3906
Mail: office@moriyama.club

森山ひろゆきを育てる会事務所

〒590-0077
大阪府堺市堺区中瓦町1-2-2 堺トーキビル1F
TEL.072-233-7261 FAX.072-233-7262

<http://www.moriyama.club>
 mail: office@moriyama.club

立憲民主党 立憲民主編集部

〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-12-4
ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302

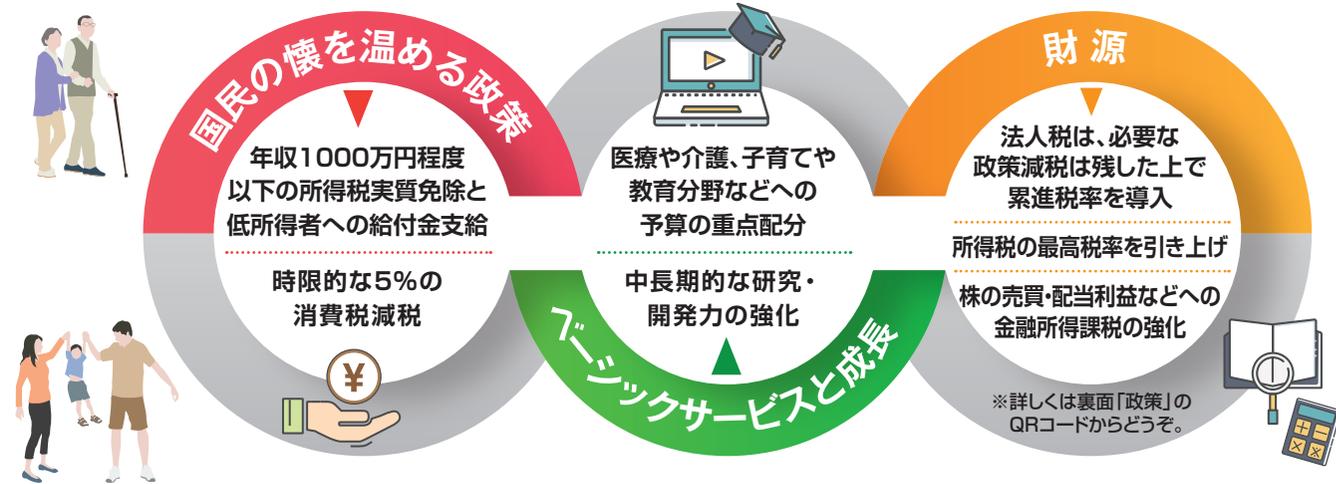


コロナ禍において、補償が不十分な自粛や緊急事態宣言により、日本の社会や経済は大きく傷ついています。当面はとにかくこの事態を乗り切ることが大事ですが、同時に「コロナ後」の再生についても方向性を定めておく必要があります。

コロナ前から自「公」政権の成長戦略は、竹中平蔵パソナ会長などが知恵袋とされ、「経済政策とは、GDP(国内総生産)と株価を上げること」という認識でした。だから、土地や農林水産業に関わる多くの権利、上下水道などのインフラ、中小企業の経営権など「日本の財産」を外国企業に切り売りすることさえ、経済指標の向上としてプラス評価するという「売国政策」でした。

一方で国民の実質賃金が下がり購買力が落ちることは放置されてきたため、国民にとっては実感なき成長となっていました。

先進国の経済は「消費」が65%前後を占めるため、一般的に経済政策とは「国民が消費できる状況をつくること」というのが基本です。私たちは売国政策をやめ、経済政策を転換します。



仁徳天皇の「民の寵」の逸話や、経済の語源が「経世済民」であることから、「国民の懐を温める」取り組みこそが中心であるべきです。

特に、「子育て罰」といわれるほど高い保育や教育の個人負担を減らすことで、若い世代の消費が増え、少子化対策にもなります。

また、自「公」政権では「老後に2000万円必要(麻生財相)」と言い放ちましたが、私たちは、「65才以上でも自分のためにさらに貯金する」ような現在の老後の不安の解消によって、老後の時間とお金を好きなことに使えるよう、取り組みます。

森山×枝野 対談(9/12)

リモート対談
 どうなる、総選挙?
 枝野幸男の本気を聞いてみた!

9.12@13:00
 枝野幸男 (立憲民主党代表)
 森山浩行 (衆議院議員/大阪16区)

YouTube



検査数が少ない、五輪で明らかになった水際対策の甘さ、最悪のタイミングでの「GOTOキャンペーン」とそのストップや十分な補償なき緊急事態宣言の乱発、ワクチン一本足打法などゴテゴテの自公政権によるコロナ対策。「政府与野党連絡協議会」を半年以上開かないまま、「政府与党連絡協議会」を設立し、与党だけで暴走して過去最多の感染者を出した第5波を迎えました。特に現在「入院できない患者の自宅療養」による家庭内感染が課題になっており、一刻も早くホテルなどを確保し、集団療養に切り替えるべきです。

われわれが30本以上の法案を提出し、何度も主張しているようにオーストラリアやニュージーランド、台湾といった海外の成功事例を参考に、「水際対策と検査の徹底、十分な補償とセットにしたロックダウンなど短期間のより強い措置」などを組み合わせて対策の基本方針の大転換を求めます。

立憲民主党のコロナ対策の実績

立憲民主党・共同会派が提出した新型コロナウイルス感染症関係議員立法



「今だけ、カネだけ、自分だけ」の政治との闘い

▶ 民主主義を守る!



2/5 菅総理と対決



今後の課題

「公明党衆議院会館事務所2軒に東京地検特捜部が強制捜査(8月4日)」「菅総理長男の総務省違法接待事件」「IR(カジノ)汚職」「森友・加計学園問題」「桜を見る会」など、政治腐敗や情報隠蔽については未解明の問題を含め徹底解明を。

▶ 国民の生命と財産を守る

～売国政策との闘い
(カジノ・水道・農業・水産業・森林など)～



「カジノ(IR)」や「農業(種子法・種苗法)」「漁業」「林業」「水道」など、日本の財産をわざわざ外資系企業に切り売りする法改正を繰り返す。菅政権の指南役と言われるアトキンソン氏の中小企業淘汰などいわゆる「売国」的政策に軸足を置く「公」政権に対峙し論陣を張っています。

今後の課題

「国民の生命と財産を守る」観点から外資に日本を「叩き売る」制度をあらためて地元根ざした中小企業や商店・個人事業が活躍できる経済社会政策を目指します。そのために、デジタル化やSDGsにおける大企業との格差を縮める支援が必要。

「儲からない」カジノは時代遅れ。

そもそもギャンブル依存症や海外の犯罪組織の流入に加え、バクチで外資系企業を通じて海外に富が流出するカジノを「儲かる」という一点で歴代公明党大臣が推進してきましたが、コロナ禍で三密のカジノが敬遠され儲からなくなったため、世界のカジノマーケットの重心はインターネット上のオンラインに移行。時代遅れのカジノ施設を誘致をしているのは日本だけです(横浜市では8月、いち早くカジノ反対の市長が当選しました)。

野党の政権担当能力を伸ばし機能する政治へ



▶ 災害や緊急事態への備え(災害・コロナ)

平時は決まったルールを公平に適用する「行政」の機能が大事ですが、災害や緊急事態の時には想定外の事態への対応をする「政治」が機能しなければなりません。森山総支部長は報道記者・国際ボランティアや自治体議員としての経験から、政権担当能力を重要と考えて党の「災害・緊急事態局長代行(コロナ対策事務局兼務)」を志願して担当しています。今期災害現場に15回の現地調査に赴くとともに全国の自治体や現場からの情報の収集・発信を担当、法改正や予算獲得につなげてきました。

今後の課題

コロナに災害対策基本法を適用するとともに感染症を含めた「災害・緊急事態庁」の設置へ

災害現場調査

15回



▶ 未来を切り拓く立法活動

～水・女性・SDGs・環境・教育・宇宙・コンテンツ～

国会は「立法府」。森山総支部長は一期目で、主に9府省にまたがる「水循環基本法案」をまとめあげました(その後2014年に成立)。現場の困り事を解決したり次世代の枠組みを作る議員立法は、超党派の議員連盟や党内政調を基盤に作成・提案します。「地域主権・暮らし」「子ども・教育」のほか「環境と経済」「宇宙・海洋・技術」「文化芸術・コンテンツ(クールジャパン)」などにも取り組んでいます。

議員立法

118本

議員立法93本(内森山総支部長提案68本) 決議案25本(内森山総支部長提案20本) ※その他全会一致(委員長提案)63本

▶ 国会質問

本会議登壇 3回・委員会質問 64回

国会質問

計67回

質問時間 1672分

21年予算委員会での質問時間 5位

論戦から逃げるな。

自「公」政権ではコロナ禍の最中に2度の政権投げ出し。政治空白をつくってしまいました(今年も6/16から100日以上も国会を閉会)。有事の今こそ、論争から逃げず、よりよい政策をどんどん打ち出すときです。

「政権取ってこれをやる」



変えよう。



立憲民主党の政策はこちら

堺での実績

- ▶ 学校耐震化100パーセントを実現(平成24年3月5日予算委員会)
- ▶ 国道26号線橋梁補修と中央分離帯清掃
- ▶ 阪神高速大和川線を事業仕分けから守る
- ▶ 文化芸術・文化財への支援
- ▶ 放置されてきた「地域区分」改訂への取り組み
- ▶ あらゆる分野で政令指定都市・堺への権限移譲に取り組む



堺での活動(2017.10~2021.9)

早朝配布

569回

早朝駅頭配布

駅頭での早朝配布は、森山総支部長が堺市議になる前の1998年からスタートし、現在は大阪16区内の17駅を中心に選挙のある時もない時も継続しています(コロナ禍では感染状況に配慮)。



始発終電

27回

始発から終電まで マラソン街頭キャンペーン

16区内の17駅を巡る「始発から終電までマラソン街頭キャンペーン」。わざわざ事務所まで電話、または出向くほどのことはない、という皆様でも、森山総支部長の顔を見ると意見交換や要望が出て、「移動事務所」的な機能も果たしています。



座談会

82回 (250回)

元気モリモリ!!! 座談会

「誰でも参加し、発言できる」森山総支部長のマンスリーミーティングを衣替えし、2009年から各校区で開催の「元気モリモリ!!!座談会」は主催のものだけで累計250回。最近はコロナ禍でzoom開催が中心となっています。



元気モリモリ!!! 座談会

全員の発言機会確保のため先着10名。ご参加希望の方は前日までに事務所へご連絡下さい。開催会場は各回とも森山事務所のある宏昌センタービルです。

- 第251回 *10月 2日(土) 19:00～
 - 第252回 *10月10日(日) 20:00～
 - 第253回 *10月17日(日) 19:00～
 - 第254回 *10月24日(日) 19:00～
 - 第255回 *10月30日(土) 19:00～
- 尚、衆議院解散後は日程を組み直します。

大阪 16区

衆議院議員 プロフィール比較

森山 浩行

北側 一雄

生年月日	1971年4月8日生(50才)	1953年3月2日生(68才)	
当選回数	当選2回(初当選2009年)	当選9回(初当選1990年)	
父	サラリーマン(たたきあげ)	衆議院議員(二世議員)	
生地	堺市北区	大阪市生野区	
出身校	三国丘高校～明治大学	創価高校～創価大学	
党(本部役職)	役員室次長・企業団体副委員長	副代表	
党(大阪府役職)	幹事長	顧問	
職歴	テレビ記者・堺市議・大阪府議	弁護士	
主な争点	カジノ(IR)	反対	推進
	参議院定数6増(2018年)	反対	賛成
	衆議院総選挙時の公開討論会	一度参加(毎回参加意向だが相手候補不参加のため開催されず、一度だけ開催)	参加実績なし